

Share the Next Values!

世界を
変える、
新たな
挑戦



NRI学生小論文コンテスト2016
[受賞論文記録集]

NRI学生小論文コンテスト2016

[受賞論文記録集]

Share the Next Values!

**世界を変える、
新たな挑戦**

「NRI学生小論文コンテスト」とは？

野村総合研究所（NRI）は、「未来創発—Dream up the future.」という企業理念のもと、未来社会のパラダイムを洞察し、その実現を担うことを使命としています。

そうしたNRIの社会的責任の一環として、次代を担う若い世代の皆さんに、日本や世界の未来に目を向け、自分たちが何をなすべきかを考え、その熱い思いを発表する場を持っていただこうと、「NRI学生小論文コンテスト」を開催しています。

本コンテストは2006年から毎年開催しており、今年で11回めとなります。

毎年、学生の皆さんから、日本と世界の新たな関係づくりや、未来に向けた斬新で力強い提案をいただいています。

NRIは、コンテストで入賞したそれらの提案を広く社会に公表することによって、若者を含む幅広い世代が日本の未来を考えるきっかけにさせていただきたい、と考えています。

これまでの募集テーマ

大学生の部・留学生の部 | 高校生の部

第1回（2006） ユビキタスネット時代のITと人間の関わり | モチベーションクライシス

第2回（2007） 日本が世界と共生するには | 日本から見た世界 世界から見た日本

第3回（2008） 日本の「第三の開国」に向けて | 2015年の日本人像・家族像

第4回（2009） ITを活用した日本発ビジネス | 日本はコレで世界一になる！

第5回（2010） 日本が世界のためにできること | 世界のなかで日本の魅力を高めるには

第6回（2011） 2025年、新しい“日本型”社会の提案 | 2025年の日本を担うわたしの夢

第7回（2012） 自分たちの子ども世代に創り伝えたい社会

あるべき社会の姿と私たちの挑戦 | 私たちがすべきこと、できること、やりたいこと

第8回（2013） あなたが考える“わくわく社会”を描いてください

第9回（2014） 創りたい未来社会—あなたの夢とこだわり

第10回（2015） 2030年に向けて—「守るもの」、「壊すもの」、「創るもの」



これまでの受賞論文記録集

コンテストへの想い



日本や世界に向けた皆さんの「新たな挑戦」をShareしましょう

NRIグループは2022年に向けた長期経営ビジョンに「Share the Next Values!」を掲げています。これは次世代に向けて、お客さまや学校、研究機関、社会と新たな価値を創造し、ともに分かち合う、という思いを込めたものです。「NRI学生小論文コンテスト」でも、大学生、留学生、高校生の皆さんの、日本や世界の未来に向けた「新たな挑戦」をShareしていきたいと思えます。

NRI取締役会長
嶋本 正

世界を変える、突き抜けた発想を期待

毎年「NRI学生小論文コンテスト」の審査に参加して若い世代の方々の新鮮な発想に触れ、自分自身の勉強にもなっています。レベルの高い、まさに甲乙つけがたい論文の審査には時間がかかりますが、そうして選んだ作品の受賞者の方たちと表彰式でお会いすることが楽しみです。「世界を変える、新たな挑戦」と言えるような、大志を抱いて突き抜けた発想を提示してくれることを期待しています。

「NRI学生小論文コンテスト」
特別審査委員

池上 彰 さん

いけがみ あきら—ジャーナリスト、名城大学教授、東京工業大学特命教授。1973年NHKに記者として入局し、1994年から「週刊こどもニュース」の“お父さん”を11年間務め、2005年独立。著書に『伝える力』『池上彰の現代史授業—21世紀を生きる若い人たちへ シリーズ』『知らない恥をかく世界の大問題』『池上彰の教授の東工大講義』『大世界史』『考える力がつく本』など。



「自分は何をしたいのか」を明確に表現して

普段から新聞やニュース報道等に接していれば、日本や世界に山積する問題に対して大きなテーマを掲げることは比較的やすいと思います。でも、「その中で、私は何をしたいのか」という意志が明確に書かれている論文には力があり、人の心に訴えるものがあります。論文を書く上では、そうしたことを意識してほしいと思います。

「NRI学生小論文コンテスト」
特別審査委員

ノンフィクションライター 最相 葉月 さん

さいしょう はづき—ノンフィクションライター。科学技術と人間の関係性、災害、医療などを中心に取材執筆活動を行う。著書に『絶対音感』『星新一—〇〇一話をつけた人』『青いバラ』『ビヨンド・エジソン』『セラピスト』『れるられる』『ナグネ 中国朝鮮族の友と日本』『調べてみよう、書いてみよう』『東工大講義 生涯を賭けるテーマをいかに選ぶか』など。



目次

- 2 「NRI学生小論文コンテスト」とは？
- 3 コンテストへの想い
- 6 NRI学生小論文コンテスト2016 テーマ詳細
- 7 募集要項
- 8 入賞作品

- 11 受賞論文 **大学生の部**
- 12 大賞 日本の森林資源とときのご栽培による砂漠緑地化プロジェクト——無から有を生み出す挑戦 井上 はるか
- 15 優秀賞 昆虫飼料活用による世界の食料問題の解決への挑戦 葦苜 晟矢
- 19 優秀賞 マイナンバーを利用した「社会奉仕活動ポイント付与制度」 城内 香葉
- 25 特別審査委員賞 海中コロニーの建設 北村 太司

- 29 受賞論文 **留学生の部**
- 30 特別審査委員賞 日本のイスラームとの関わりの再考 ハリー セイザー
- 34 特別審査委員賞 多文化共生社会を目指す——外国人女性への支援に向けて 李 卓
- 38 コラム NRI学生小論文コンテスト 受賞OB・OGのいま—— Part1

- 39 受賞論文 **高校生の部**
- 40 大賞「機種変更携帯と太陽光充電器で、すべての子供たちに教育を届ける」 南口 虎太郎
- 42 優秀賞「人間の安全保障理事会」構想——人類を守る、新たな安全保障の枠組み 岡田 悠也
- 44 優秀賞 拡張型心筋症治療の未来——心臓移植以外の手段で命を救う 武井 綾音
- 48 特別審査委員賞 多数決から見た世界 柚山 高摩
- 50 コラム NRI学生小論文コンテスト 受賞OB・OGのいま—— Part2

- 51 募集告知から審査、そして表彰まで
- 52 募集告知
- 54 審査
- 56 最終審査会
- 58 ドキュメント 最終審査会
- 64 表彰式
- 66 論文発表
- 68 コンテストへの応募動機
- 70 NRIグループ社員による審査の感想
- 72 NRIグループ社員によるコンテスト告知活動
- 73 先生から見た「NRI学生小論文コンテスト」
- 74 おわりに
- 75 メディアでの掲載

テーマ詳細

大学生の部、留学生の部、高校生の部募集テーマ

Share the Next Values! 世界を変える、新たな挑戦

人口減少、少子高齢化、経済の減速など、多くの課題を抱える日本。グローバル化により、政治・経済・環境・文化など、あらゆる分野が国を越えて影響しあい、進む方向が予測できない世界。

大学生・留学生・高校生の皆さんは、自身が活躍しているであろう2030年ごろの未来社会を、どのように想像していますか？

明るく希望に満ちた未来の実現のために、解決しなければならない問題が山積しています。これまで、多くの人々が知恵を絞ってもなかなか見通せなかった問題を解き明かすには、今までとは違う視点を持つことが必要ではないかとNRIは考えています。

例えば、働き手となる「生産年齢人口」（15歳以上65歳未満人口）の減少に伴い、経済減速が懸念されています。欧州では、生産年齢人口の問題を移民の受け入れの課題として捉えています。しかし、日本では、様々な分野で「働くロボット」の開発の課題に置き直そうとしています。このことは、社会の摩擦を少なくすることに加えて、ロボット技術の輸出によって日本経済を発展させる可能性があるからです。

このように、1つの問題を様々な角度から見ることによって、未来への新たな「可能性」が見えてくるかもしれません。

現在、米国のシリコンバレーでは、世界を変えるような事業を行う新しい企業が次々と生まれています。彼らは、「多くの人々が希望を持ち、豊かで便利な未来の社会を実現するために問題になっていることはなんだろう。その問題は、どうすれば解決できるのだろうか」と日夜考えています。また、その考えに共感した投資家の協力により、事業を推進できる仕組みが作られています。

皆さんも、日本や世界が抱える様々な問題を、新たな切り口で提起してみませんか。そして、その問題を解決するために皆さん自身が挑戦したいことを考察し、論文としてまとめてください。

その問題を自分一人で解決することが難しくても、気づきを日本に、そして世界に広めることで、新たな解決策や協力が得られるかもしれません。

若い力と知恵を結集すれば、希望に向かって進む社会が必ず実現できるとNRIは考えます。日本や世界の未来に向けた、皆さんの「新たな挑戦」をお待ちしています。

募集要項

日本や世界の未来に向けた 皆さんの「新たな挑戦」を提案してください！

大学生の部

応募資格 — 日本国内の大学院、大学、短大、高等専門学校（4～5年）に在籍している学生で、2016年7月1日時点で27歳以下の個人またはペア。

ペアの相手は、留学生の部、高校生の部の応募資格者でも可。

字数 — 4,500～5,000字 *別途400字程度の要約を添付

賞 — [大賞1名] 賞金50万円、[優秀賞若干名] 賞金25万円、[奨励賞若干名] 賞金5万円

留学生の部

応募資格 — 日本国内の大学院、大学、短大、高等専門学校（4～5年）、日本語学校に在籍している留学生で、2016年7月1日時点で30歳以下の個人またはペア。

ペアの相手は留学生の部の応募資格者に限る。

字数 — 4,500～5,000字 *別途400字程度の要約を添付

賞 — [大賞1名] 賞金50万円、[優秀賞若干名] 賞金25万円、[奨励賞若干名] 賞金5万円

高校生の部

応募資格 — 日本国内の高校、高等専門学校（1～3年）に在籍している、2016年7月1日時点で20歳以下の個人またはペア。

ペアの相手は高校生の部の応募資格者に限る。

字数 — 2,500～3,000字 *別途200字程度の要約を添付

賞 — [大賞1名] 賞金30万円、[優秀賞若干名] 賞金15万円、[奨励賞若干名] 賞金3万円

[今回から審査基準を変更]

独自性や鋭さを持った、社会課題への提起がなされた論文を高く評価

- 「問題発見力」「問題解決力」「文章力」の3つの観点から審査（これまでの審査項目は「考察力・分析力」「提案力」「文章力」）
- 「問題発見力」の部分に与える加点のウェイトを高く設定

